

## 研 究 所 の 概 要

当研究所は、大気汚染、水質汚濁、騒音振動等の公害防止対策に関する分析、試験、測定並びに研究を行うとともに、公害関係資料及び情報を収集し、公害現象を科学的には握し、公害防止技術の向上を図るために昭和46年10月に発足し、衛生研究所内で業務が開始された。なお、建物は12月に完成をみたところであります。

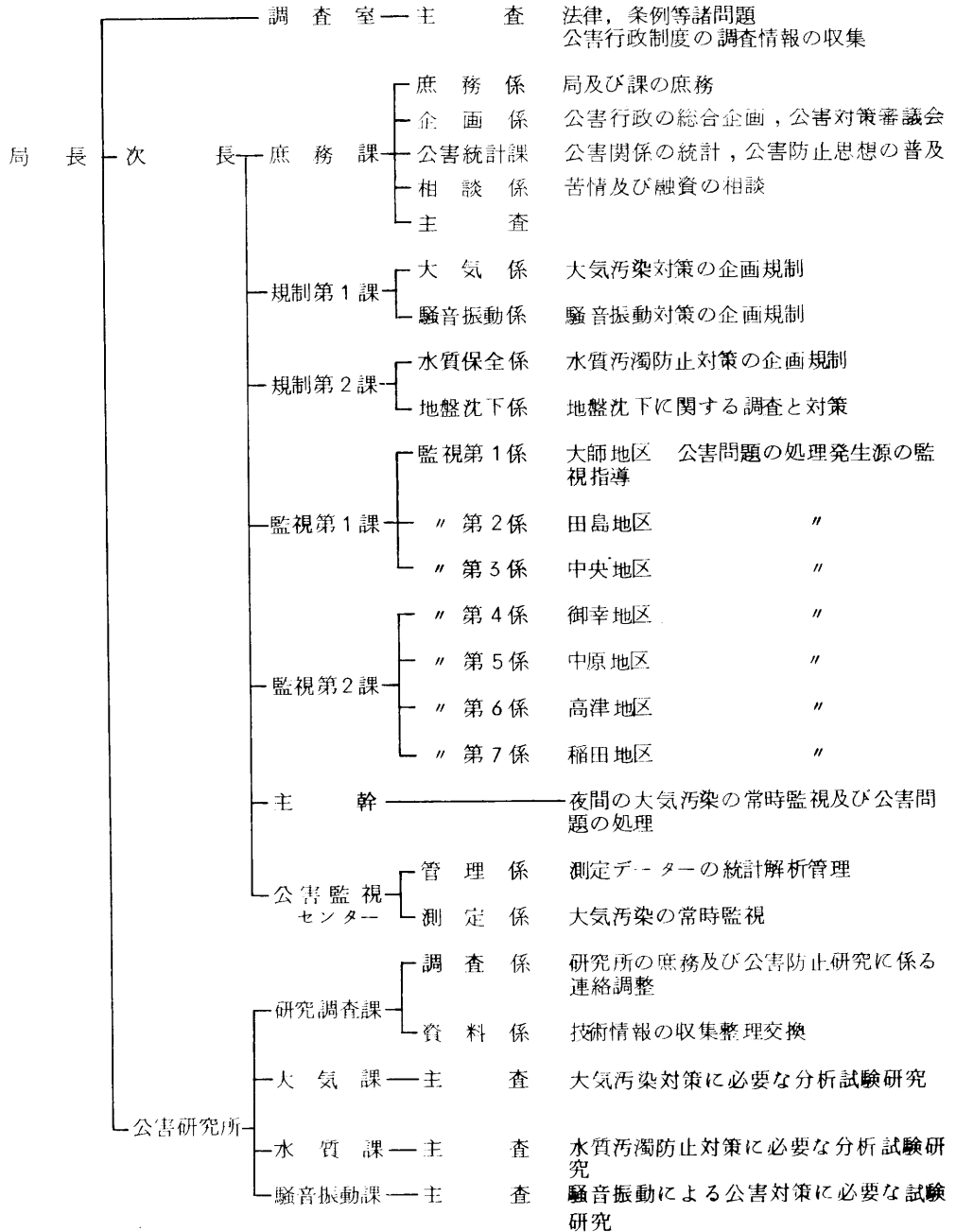
1 庁舎建築場所 川崎市川崎区田島町20番2

### 2 工事の概要

工事名称	構造及び規模	面積及び形状寸法等	内 容
公害研究所 新築工事	構 造 鉄筋コンクリート造 規 模 3階建 (4階増築可能) 高 さ 11.40 m 基 礎 アースドリル式ピア- 基礎 (現場造成杭) 実長 30 m 杭径 800mm ~ 1,000mm 本数 30本	敷地面積 2,000.00 m <sup>2</sup> 建築面積 582.49 m <sup>2</sup> 建築延面積 1,682.96 m <sup>2</sup> 1階 566.82 m <sup>2</sup> 2階 536.64 m <sup>2</sup> 3階 536.64 m <sup>2</sup> 塔屋 42.86 m <sup>2</sup>	用途区分 1階 事務室 所長室 会議室 機 械室 電気室 管理人室 更 衣室(男・女) 便所(男・女) 電話機械室 書類倉庫 ボン ベ室 2階 図書室 機器分析室 水質金 属成分分析室 恒温室 同前 室 天秤室 冷凍室 冷蔵室 同前室 水質特殊成分分析室 倉庫(2) 水質一般成分分析室 水質試料処理室 底質土壤分 析室 便所 3階 燃料分析室 粉じん計測室 大気試料処理室 暗室 大気 一般成分分析室 悪臭分析室 大気特殊成分分析室 騒音振 動研究室 防音室 測定室 蛍光X線及び電子顕微鏡室 精密機器分析室 倉庫(2) 便所 塔屋 エレベーター機械室 附帯設備 給排水衛生設備 空気調和設備 エレベーター設備 特殊附帯設備 排ガス浄化装置

# 川崎市公害局機構

## 事務分掌の概要



## 公害研究所職員の構成

(48.4.1.現在)

区分 課別	管理職	係主	長査	係員	計	職 種			
						事務	薬剤師	化学	電気
研究調査課	2	2		3	7	5	1	1	--
大気課	1	2		5	8	--	3	5	--
水質課	1	1		8	10	--	3	7	--
騒音振動課	1	--		1	2	--	1	--	1
合計	5	5		17	27	5	8	13	1

昭和47年度

### 公害研究所の業務内容

#### (1) 研究調査課

事 業	内 容
事 務	一般庶務事務，関係機関との連絡調整
技術情報 収集整理	公害防止思想の普及，光化学対策の調査研究 技術資料の作成・整理・保管

#### 大気課

事 業	内 容
降下ばいじん分析	水溶性，不溶性成分，降下ばいじん総量，その他の分析
重油中イオウ分析	工場，事業所等の使用燃料中のイオウ分析
浮遊粒子状物質分析	環境大気中の浮遊粒子状物質質量，粒度分布，金属その他の成分分析
環境大気中の有害物質の分析	アンモニア，PCB，その他
光化学スモッグ対策	光化学スモッグ関連物質の究明
苦情発生時における測定	目的に応じた分析，試験
イオウ酸化物測定	二酸化鉛法による環境大気中のイオウ酸化物測定
そ の 他	窒素酸化物，その他分析法の検討

水 質 課

事 業	内 容
業種別事業所排水水質調査及び分析試験	メッキ、製紙、表面処理、食糧品製造業及び水銀触媒使用工場等からの排出水のPH、COD、BOD、シアン、水銀、その他重金属の分析
PCBなどによる環境汚染調査	公共用水域、底質、土壌等のPCB分析
多摩川水系の水質汚濁負荷量調査のための水質分析	川崎市側から多摩川に流入する河川、排水口のPH、COD、BOD、窒素、リン等の分析

騒音振動課

事 業	内 容
環境騒音の調査	都市計画にもとづく用途地域別の環境騒音の測定及び調査
交通騒音の調査	主要道路の自動車騒音及び航空機による騒音の測定及び調査
工場等の騒音振動調査	業種別による工場の騒音振動の測定及び調査